

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 589 号	氏名	林 和歌
学位審査委員	主 査 下川 功 副 査 大園 恵幸 副 査 酒井 英樹		
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、可逆性メサンギウム増殖性糸球体腎炎モデルを用いて、糸球体障害と修復過程におけるアンギオテンシン II (ATII) シグナル経路の役割を解析したもので、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 野生型、ATII 受容体 1 ノックアウト (AT1R-KO) マウスを用いてハブ毒による腎炎を誘発し、免疫組織化学、ウエスタンブロット法を用いて血管内皮細胞関連蛋白質などを解析した研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ATII-AT1R シグナル系により誘導される血管内皮細胞増殖因子 (VEGF) が血管新生を促進し、腎炎後の糸球体修復過程を制御していることを明らかにした。今後の糸球体腎炎の進行と治療に関する研究への進展が大いに期待される。 以上のように本論文は腎臓病学研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。			